

中学生・高校生のための

事前学習資料



知覧特攻平和会館

はじめに

第二次世界大戦において、日本はアメリカをはじめとした国々と戦争を行いました。戦争末期には、敵に体当たり攻撃する特攻作戦が行われ、現在の高校生・大学生と同じ世代の多くの若者たちが命を失うことになりました。

戦争では、特攻だけでなく、空襲や原子爆弾などでも多くの人々が亡くなり、傷つきました。また、戦争が終わってからも苦しみは続きました。大切な人を亡くした悲しみはいつまでたっても消えることはないかもしれません。戦争は本当に辛く悲しいものなのです。

知覧特攻平和会館は、戦争の悲惨さ、命の尊さ、平和の大切さを伝えることを目的として、沖縄で行われた陸軍特攻作戦で亡くなった特攻隊員の手紙や写真などを展示しています。手紙の多くは、特攻隊員が出撃する直前に、愛する家族や恋人、友人に宛てて書き残したものです。それらは、戦争の記憶を風化させてはならないという遺族や友人らの願いによって、知覧特攻平和会館に託されてきました。

世界各地では、今でも紛争やテロが起こっています。世界の平和のために私たちは何をすべきか、知覧特攻平和会館を訪れて、考える機会にしていいただければ幸いです。

学習の方法

この資料は、平和学習で知覧特攻平和会館を訪れる生徒のみなさんが、戦争や特攻について事前に学習するために作成したものです。太平洋戦争が起こった歴史的背景や、特攻に関する基礎的知識についてわかりやすく説明していますので、この資料を活用し知覧特攻平和会館での学習をより充実したものにしましょう。

学習を深めたい場合は【もっと調べてみよう】の欄に学習課題を設定してあります。インターネット・図書館などを利用して調べてみてください。

また、知覧特攻平和会館のホームページでは、事前学習・事後学習に最適なオンラインミュージアムを公開しています。こちらも活用して、特攻について考えを深めてほしいと思います。

目 次

1. なぜ戦争になったの？世界の情勢から考えてみよう	1
2. 特攻とは？	2
3. なぜ特攻作戦を行ったの？	2
4. 特攻隊はどこから出撃したの？	3
5. 知覧基地について	3
6. 特攻隊員の遺書や手紙を読んでみよう	4
7. 知覧特攻平和会館での学習案内	5
その他の事前学習資料	5

1. なぜ戦争になったの？ 世界の情勢から考えてみよう

第二次世界大戦では、日本だけでなく世界の多くの人々が命を失い、傷つき悲しむことになりました。

戦争を二度と繰り返さないために、歴史を学ぶことはとても大切です。日本だけでなく、いろいろな国の立場から、なぜ戦争をすることになったのか考えてみましょう。

18世紀後半～	イギリスで産業革命が起こる。 欧米諸国は、より多くの原材料を得るために、アフリカやアジアの多くの国を植民地にした。1914年ごろには世界の陸地の80パーセント以上を植民地として支配した。
1840年～ てんぽう 天保11年	清（今の中国）とイギリスとの間でアヘン戦争が起こる。 清が敗北して半植民地化されたことに対し、日本は植民地化への危機感を持つ。
1853年～ かえい 嘉永6年	ペリーが率いるアメリカの船が日本に来航し、開国を迫る。 1854年には日米和親条約を結び、日本は鎖国政策をやめて開国する。
1868年～ 明治元年	明治維新。 日本は、植民地化への危機に立ち向かうため西洋文明を取り入れ、新しい産業の育成・軍備の強化・教育の充実などに力を入れる。
1904年～ 明治37年	日露戦争が始まる。 次の年、日本が勝利したことに対し、ヨーロッパやアメリカは日本を警戒し始める。 アメリカは、日本などとの戦争を想定した計画「オレンジプラン」などを作る。
1923年～ 大正12年	関東大震災が発生。1927年に金融恐慌、1929年には世界恐慌が起こる。 世界各国は独自の経済圏を作り、それ以外からの輸入に高い税金をかけるブロック経済を行ったため、貿易に頼っていた日本経済は圧迫されていた。 このような中、日本では資源を多く持つ満州（今の中国東北部）を日本の生命線と考える意見が出てくるが、中国では反日運動が高まる。
1931年～ 昭和6年	満州事変が起こる。この事件をきっかけに1932年に日本は満州国を建国させるが、国際連盟は満州国の存続を認めない決議をする。日本は1933年に国際連盟を脱退。1932年には五・一五事件が起こり政党内閣は崩壊。
1937年～ 昭和12年	日本と中国の間で日中戦争が始まる。 1939年にはドイツがポーランドに侵攻し、第二次世界大戦が開戦。
1941年 昭和16年	日本は、アメリカ・イギリス・中国・オランダから貿易の制限を受け、石油・鉄などの資源輸入が停止する。 アメリカからは、日本としては受け入れがたい交渉文書「ハル・ノート」を提案される。 12月8日、日本はマレー半島・ハワイの真珠湾を攻撃。アメリカを主とする連合国との戦争（太平洋戦争）が始まった。

【もっと調べてみよう】

○戦争当時の日本はどのような様子だったのでしょうか？人々の暮らしや教育などの様子について調べてみましょう。

2. 特攻とは？

1941（昭和16）年12月8日、日本はハワイの真珠湾とマレー半島を攻撃し、アメリカを主とする連合国との戦争が始まりました。奇襲攻撃が成功した日本は、オーストラリア北側の海域まで進出しました。

その後、連合国の反撃が強まり、1944（昭和19）年には沖縄をはじめ日本本土も空襲されるようになりました。苦戦が続く中、日本は「沖縄は絶対守るべき防衛の第一線である」と考えていました。そして、最前線である沖縄を守り劣勢を挽回するため、最後の手段として組織的な特攻作戦を開始しました。

特攻とは、重さ約250キログラムの爆弾を付けた飛行機にパイロットが乗ったまま、敵の船に体当たりして沈没させようという攻撃のことです。パイロットは必ず戦死することになりました。

陸軍の沖縄特攻作戦は、第二次世界大戦末期の1945（昭和20）年3月26日から7月19日まで行われました。この作戦で亡くなった特攻隊員は17歳から32歳、平均年齢21.6歳でした。今の高校生や大学生と同じ世代の人々が特攻で命を失ったのです。

沖縄戦での都道府県等別の陸軍特攻戦死者数

都道府県等	人数	都道府県等	人数	都道府県等	人数	都道府県等	人数
北海道	35	神奈川	31	大 阪	35	福 岡	43
青 森	9	新 潟	17	兵 庫	28	佐 賀	22
岩 手	18	富 山	13	奈 良	8	長 崎	18
宮 城	27	石 川	17	和歌山	14	熊 本	20
秋 田	9	福 井	8	鳥 取	9	大 分	25
山 形	10	山 梨	6	島 根	8	宮 崎	20
福 島	22	長 野	30	岡 山	26	鹿児島	40
茨 城	25	岐 阜	21	広 島	28	沖 縄	6
栃 木	28	愛 知	43	山 口	20	樺 太	2
群 馬	24	静 岡	22	徳 島	13	朝 鮮	11
埼 玉	22	三 重	18	香 川	17	合 計	1,036
千 葉	27	滋 賀	10	愛 媛	13		
東 京	86	京 都	26	高 知	6		

3. なぜ特攻作戦を行ったの？

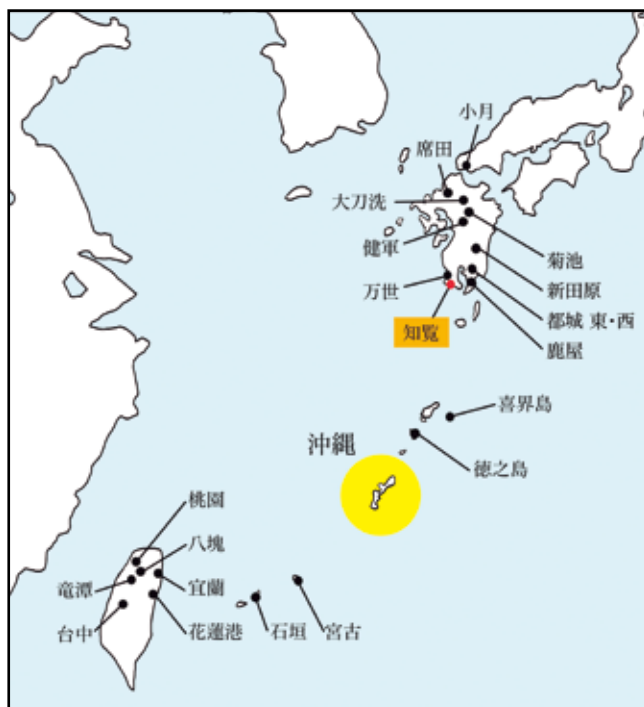
当時の日本では「軍人は、国のために命をかけて尽くすことは当たり前」と教えられていました。戦争が長引き、戦況が悪化する中で、経験が豊富なパイロットや飛行機を多く失っていたこと、新たなパイロットの養成や飛行機の生産が追いつかなかったことなどの理由も重なり、少ない飛行機とパイロットで大きな船を沈める可能性のあった特攻作戦が行われたのです。

【もっと調べてみよう】

○特攻には、飛行機だけでなく、モーターボートなど他の兵器が使われることもありました。それらについて調べてみましょう。

4. 特攻隊はどこから出撃したの？

沖縄戦で陸軍の特攻機が出撃した飛行場



沖縄戦で戦死した陸軍の特攻隊員
1,036名のうち、約半数にあたる439名※が
知覧から出撃していきました。

※知覧から徳之島・喜界島を経由して出撃した人数を含みます

出 撃 地			人 数
鹿児島	知 覧	ちらん	439
	徳之島	とくのしま	※14
	喜界島	きかいじま	※23
	万 世	ばんせい	120
宮 崎	鹿 屋	かのや	12
	都城東	みやこのじょうひがし	73
	都城西	みやこのじょうにし	10
	新田原	にゅうたばる	38
熊 本	健 軍	けんぐん	127
	菊 池	きくち	1
福 岡	大刀洗	たちあらい	14
	席 田	むしろだ	4
山 口	小 月	おづき	2
沖 縄	沖 縄	おきなわ	20
	石 垣	いしがき	31
	宮 古	みやこ	10
台 湾	宜 蘭	ぎらん	37
	台 中	たいちゅう	31
	八 塊	はっかい	32
	桃 園	とうえん	15
	花蓮港	かれんこう	15
	竜 潭	りゅうたん	5
合 計			1,036

※徳之島は（知覧→徳之島）、喜界島は（知覧→喜界島）をそれぞれ経由した数。

【もっと調べてみよう】

- あなたの住む都道府県出身の特攻隊員について調べてみましょう。
- どのような人達の特攻隊員になったのか、調べてみましょう。

5. 知覧基地について

1941（昭和16）年12月に日本と連合国との戦争が始まったとき、知覧基地は福岡県にある大刀洗陸軍飛行学校の分校として開校されました。知覧が、風向きや地質条件に優れ、道路や鉄道が通り交通の便が良く、飛行場に適していたからです。

しかし、戦況の悪化に伴い、1945（昭和20）年3月に特攻基地となりました。特攻基地は、知覧をはじめ九州、当時日本の統治下であった台湾にもあり、特攻作戦が始まると、沖縄に向けて特攻機が出撃するようになりました。

知覧特攻平和会館は、知覧飛行場があった場所の北端に建てられています。

【もっと調べてみよう】

- 特攻隊員の周りには、どういう人々がいたでしょうか？鳥濱トメさんや「なでしこ隊」について調べてみましょう。
- 今でも残る知覧飛行場の戦争遺跡について調べてみましょう。

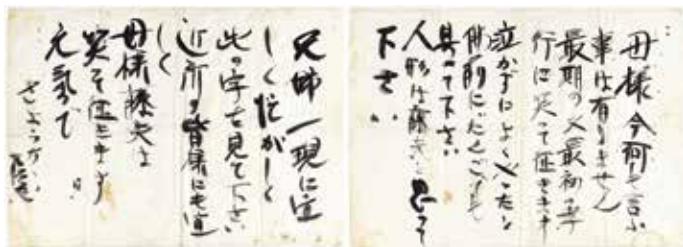
6. 特攻隊員の遺書や手紙を読みましょう

ほとんどの特攻隊員は、出撃前に家族や友人に宛てた遺書や手紙を残しました。

知覧特攻平和会館には、特攻隊員が残した遺書や手紙などが展示してあります。

ここでは2つの遺書を紹介します。特攻隊員は、どのような気持ちで手紙を書いたのか考えてみましょう。

母に宛てた手紙



わかまつ 藤夫 少尉
若松 藤夫 少尉

鹿児島県出身 19歳

鹿児島県知覧基地から出撃

1945(昭和20)年

6月3日戦死



19歳の特攻隊員が母親に宛てて書いた最期の手紙です。

知覧特攻平和会館には、特攻隊員が書いた母親宛ての手紙が多く展示してあります。

母様今何も言ふ
事は有りません
最期の又最初の孝行に
笑って征きます
泣かずによくやったと
佛前にだんごでも具へ
て下さい
人形は藤夫と思って下
さい
兄弟一現に宜しく
忙がしく
此の字を見て下さい
近所の皆様にも宜しく
母様藤夫は 笑って征
きます
元気で
さようなら
藤夫

※一現(弟の名前)

子どもたちに宛てた手紙



特攻隊員が、2歳と4歳の子どもに宛てた手紙です。

当時、学校で最初に習う文字はカタカナでした。父親であった特攻隊員は、子どもたちが読みやすいようにと考え、カタカナで手紙を書いたのです。

くの まさのぶ
久野 正信 中佐

愛知県出身 29歳

熊本県健軍基地から
出撃

1945(昭和20)年

5月24日戦死



正憲 紀代子へ
父は姿こそ見えざるもいつでも
お前たちを見ている よくお母
さんの言いつけを守ってお母さ
んに心配をかけないようにしな
さい
そして大きくなったなれば自分
の好きな道に進み立派な日本人
になることです
人のお父さんを羨んではいけま
せんよ「まさのり」「きよこ」
のお父さんは神様になって二人
をじっと見ています
二人仲良く勉強をしてお母さん
の仕事を手伝いなさい
お父さんは「まさのり」「きよこ」
のお馬にはなれませんけれども
二人仲良くしなさいよ
お父さんは大きな重爆に乗って
敵を全部やつけた元気な人で
す
お父さんに負けない人になって
お父さんの仇を討ってください
まさのり
きよこ
二人へ
父より

知覧特攻平和会館



知覧特攻平和会館

〒897-0302

鹿児島県南九州市知覧町郡17881番地

TEL: 0993-83-2525

FAX: 0993-83-4859

ホームページ: <https://www.chiran-tokkou.jp/>

